

青い空に浮かぶ白い雲 15

新年明けまして おめでとうございます

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美



変化の兆し

昨年は、東大和市にある市立中学校と都立高校の吹奏楽部が、全国や東京都で大活躍をするともに、産業祭やふれあい市民運動会等の地域行事にも積極的に協力をするなど、東大和市全体の活性化に大きく貢献してくれました。また、課題である学力にも学校と保護者との連携・協力などによって向上の方向で変化の兆しが見え始めています。

一方、国に目を移すと、政権が代わり、政府の緊急経済対策とともに、教育面においても「教育再生実行会議」の設置をはじめ、「教育委員会制度の抜本的な見直し」や「6・3・3・4」の学制改革に向けた動きなど、こちらも変化の兆しを感じとれるようになってきました。

子供の心身の成長や社会情勢の変化が著しい時代の中においては、時代の要請に基づき、改革を必要とする部分も多くあります。

東大和市教育委員会は、今後の教育改革の取り組みについて注視しながら、積極的な対応を図ってまいります。

国民体育大会開催の年

また、今年は第68回国民体育大会が開催される年でもあります。東大和市では、正式競技の「ボウリング」とデモンストレーション行事の「スポーツチャンバラ」を開催します。

さらには、再来週1月28日(月)から2月1日(金)まで、東大和スケートセンターにおいて、東京都が担当する第68回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技が開催されます。全国のアスリートたちの高度な技術をお楽しみいただくとともに、全国の方々へのおもてなしにもご協力をお願いいたします。

「出世の石段」

正月にふさわしい勢いのある話をします。

都営地下鉄三田線に御成門という駅があります。そこで下車し地上に出ると、鮮やかな色のスカートを広げた東京タワーがやさしく迎えてくれます。今回はその東京タワーではなく、御成門小学校の前の歩道橋を渡り森ビルという高層ビル側に降り右に50mほど行ったところにある「愛宕山」を紹介します。

愛宕山は東京23区で一番高い自然の山で高さがおよそ26m。山頂にはNHK放送博物館と愛宕神社があります。その愛宕神社に続く86段の階段は大変な急勾配で「出世の石段」と呼ばれています。

この石段は、三代将軍家光が将軍家の菩提寺芝増上寺(すぐ近くにありますが)に参詣の帰り、愛宕山に見事に咲く「源平の梅」を目にされ、その梅をとって来るよう命じました。私も3年間で数回上りましたが、何度登っても足がすくむ急勾配です。

その石段を丸亀藩家臣の「曲垣平九郎」が、人馬一体見事な手綱捌きでのぼり降りし、梅を献上したという武勇伝がそこにはあります。その後、曲垣平九郎は、「普通の精進怠らざる心がけが見事である」として寛永の三馬術の一人として讃えられたということです。ぜひ一度愛宕神社の石段を登ってみてください。あわせて港区立御成門小学校玄関の統合の碑もご覧ください。